

教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教公募

令和2年3月6日

各国公立大学（学部）長 殿
各関係機関の長 殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任教員候補者選考委員会
委員長 山羽 悦郎

教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）におきましては、下記の要領により、文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地 北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点」（付記1参照）に関わる教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴施設関係者に周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、ご依頼申し上げる次第です。

記

1. 職種・採用人数：
特任助教・1名
2. 任期：
令和3年3月31日迄
※業績等により、令和7年3月31日迄の期間において、単年度単位で契約の更新を行うことがある。
3. 所属・分野等：（付記2を参照）
担当ステーション：水圏ステーション
4. 勤務候補地：
白尻水産実験所 〒041-1613 北海道函館市白尻町152
七飯淡水実験所 〒041-1105 北海道亀田郡七飯町桜町2-9-1
忍路臨海実験所 〒048-2561 北海道小樽市忍路1丁目460
5. 試用期間：
あり（1ヶ月）
6. 給与：
国立大学法人北海道大学特任教員就業規則及び国立大学法人北海道大学年俸制の適用に関する内規等による
7. 勤務形態：
専門業務型裁量労働制を適用（※1日に7時間45分労働したものとみなす）
8. 健康保険等：
文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入
9. 募集者の名称：
国立大学法人北海道大学

10. 応募要件：

- (1) 博士の学位を有する方。
水産生物学並びに関連する分野において、優秀な業績、教育・研究能力を有する方。
- (2) 学内外の学生・大学院生等を対象とした臨海実習や外来利用学生の受け入れなど、教育関係共同利用拠点にかかる業務に関して、臼尻水産実験所、七飯淡水実験所および忍路臨海実験所の設備機器・機材等を積極的に活用して、その企画・遂行に責任を持って取り組める方。
- (3) 臼尻水産実験所、七飯淡水実験所、忍路臨海実験所およびその他の水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設等の管理に意欲と責任感をもって参加しうる方。地方施設での勤務、研究、社会教育を含む地域との諸関係などを全うできる方。
- (4) 当教育関係共同利用拠点が行う情報の発信および管理ができる方。
- (5) 日本語および英語で教育ができる方。

11. 応募書類：

- (1) 履歴書 1通（顔写真付き）。資格があれば記載してください。
※平成25年4月1日以降、北海道大学に在職経験（非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員等すべての職種を含む）のある者は、当該職歴を漏れなく記載すること。
- (2) 研究業績目録 1部（様式に基づいて記入してください）。
学術論文（査読制の有無）・学位論文・著書・総説・教育業績に分けて記載してください。教育業績には、講義・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項、および、国際的・全国的シンポジウムのオーガナイザーや招待講演・各種受賞・科研費等の競争的研究費や委託研究費の獲得状況など、教育研究活動の参考となる事項も記載してください。
- (3) 主要論文の別刷またはコピー 5編以内、各7部。
- (4) 「これまでの教育および研究の概要など」（2,000字以内）1部
これまでの実習に関わる教育、アウトリーチ、および社会貢献等に関する活動について記述してください。
- (5) 「応募にあたっての抱負など」（2,000字以内）1部
採用後における教育・研究の展開に関する抱負、特に教育関係共同利用拠点の運営に関する抱負等を記述してください。
- (6) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先（ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません）。

12. 選考方法：

書類選考。必要と認めた場合、面接を行う場合があります。この場合、交通費等は支給されませんので、あらかじめご了解ください。

13. 応募期限：

令和2年4月15日（水）必着。

14. 採用予定日：

令和2年7月1日以降できるだけ早い時期。

15. 応募書類提出先：

〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

係長（人事担当） 宛
（「水圏ステーション特任助教公募」と朱書きし、書留で郵送してください。応募書類は原則として返却いたしません。なお、応募書類に含まれる個人情報は、選考目的以外には使用いたしません。）

16. 問い合わせ先：

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
水圏ステーション 七飯淡水実験所 山羽 悦郎（やまは えつろう）
TEL：0138(65)2344；FAX：0138(65)2239
E-mail：eyamaha@fsc.hokudai.ac.jp

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進、男女共同参画推進に努めており、女性の積極的な応募を歓迎します。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備に努めています。

付記

1) 平成27年7月より水圏ステーション白尻水産実験所、七飯淡水実験所および忍路臨海実験所は文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地 北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点」に認定され、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで再認定されています。詳細については (<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/>) をご参照ください。

2) 「センター」は、研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同施設（研究施設）です。教員は、森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し、各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに生物資源創成領域・共生生態系保全領域・持続的生物生産領域・生物多様性領域・生態系機能領域・生物群集生態領域からなる教育研究部（領域）に所属して、教育・研究を行っています。「センター」、水圏ステーション、および白尻水産実験所、七飯淡水実験所および忍路臨海実験所の詳細につきましては、「センター」のホームページ (<https://www.hokudai.ac.jp/fsc/>) を参照してください。現在、水圏ステーションは、教授5名・准教授4名・助教（含；特任）5名の教員により構成されています。